

(ご参考)

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	当連結会計年度	前連結会計年度
	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	712,230	545,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△775,470	△557,688
フリー・キャッシュ・フロー	△63,239	△12,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	191,490	△104,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,485	△244
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	124,764	△117,108
現金及び現金同等物の期首残高	75,545	192,654
現金及び現金同等物の期末残高	200,310	75,545

※フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フロー及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計となります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ166,996百万円増加しました。

移動通信事業における分割払い導入等に伴い売上債権が増加したものの、減価償却費及び減損損失の増加並びに前々連結会計年度末が休日であったこと等が主な増加要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ217,781百万円減少しました。

主な減少要因は、株式会社セントラル・タワー・エステートからの信託受益権の取得による支出207,057百万円及び設備投資の増加等によるものであります。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ50,785百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期及び短期借入れ及び社債発行等により、前連結会計年度に比べ295,900百万円増加しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比べ124,764百万円増加しました。

事業別損益の状況

(単位：百万円)

当連結会計年度	移動通信事業	固定通信事業	その他事業	連 結
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)				
営 業 収 益	2,719,211	848,712	72,776	3,497,509
前期比増減 (%)	△5.0%	18.1%	△56.5%	△2.7%
営 業 利 益	501,461	△56,559	△2,476	443,207
前期比増減 (%)	10.2%	—	—	10.7%
設 備 投 資 額 (支 払)	432,132	140,598	2,341	575,072
減 価 償 却 費	305,306	127,855	2,439	434,623

(注) 上記の連結は、連結調整等の記載を省略しており、各事業の合計と一致いたしません。